



平成 29 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社エイチ・アイ・エス
代表者名 代表取締役会長兼社長
最高経営責任者 澤田 秀雄
(コード番号 9603 東証第一部)
問合せ先 取締役 最高財務責任者
中谷 茂
(TEL 03-5908-2070)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 12 月 9 日に公表いたしました平成 29 年 10 月期通期連結業績予想の修正を平成 29 年 10 月 27 日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、平成 29 年 10 月期決算は、平成 29 年 12 月 8 日に発表する予定であります。

記

1. 平成 29 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	580,000	20,000	23,000	12,000	195 円 30 銭
今回修正予想 (B)	595,000	15,500	19,400	12,300	210 円 29 銭
増減額 (B-A)	15,000	△4,500	△3,600	300	—
増減率 (%)	2.6	△22.5	△15.7	2.5	—
(ご参考) 前期実績	523,705	14,274	8,648	267	4 円 25 銭

2. 平成 29 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正理由

(1) 売上高の修正の主な理由

旅行事業において、欧州需要の回復が見られたほか、M&A などによる様々な施策を行った結果、売上高は前回発表予想から 150 億円増加の 5,950 億円と見込んでおります。

(2) 営業利益の修正の主な理由

ハウステンボスグループにおいて、大型台風などの悪天候と九州観光産業の回復の遅れにより、ハウステンボスの入場者数が期初の予想に対し、弱含みで推移いたしました。また、旅行事業においては、年末年始の日並びの影響等による第 1 四半期の一時的な利益率低下に加え、地政学的リスク等の外的要因による需要の減速がみられます。この結果、営業利益は 45 億円減少の 155 億円と見込んでおります。

(3) 経常利益の修正の主な理由

営業利益の減少要因（45 億円）の反面、経常利益におきましては、当初見込んでいたよりも円安に推移しているため、外貨建資産の評価益（為替差益）が想定よりも増加する見込みです。ただし、実際の業績は、期末の外貨建資産の残高及び為替レートによって、変動する可能性があります。

(4) 親会社株主に帰属する当期純利益の修正の主な理由

上記の減少要因に加え、当期において、持分法適用の範囲であった GROUP MIKI HOLDINGS LIMITED 等を連結子会社としたことにより、段階取得に係る特別利益が 20 億円、また法人税等が前回発表予想よりも減少する見込みのため、親会社株主に帰属する当期純利益は 3 億円増加の 123 億円と見込んでおります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上